

粟にしずみ

令和3年9月1日発行

みんなで学び、みんなで進む学習端末の活用について

校長 佐々木 美奈子

本校では、4月から「みんなで学び、みんなで進む学習端末の活用」を進めてまいりました。今月号の「広報しばた」にも掲載させていただきましたので、ご覧になった方も多いと存じます。この取組は、学校独自で得意な教員や子供が活用を進めるのではなく、環境や経験の有無にかかわらず家庭と学校とが互いに共通理解をもって進んでいくという思いを込めてスタートいたしました。しかしながら、これまで学校にいただいた保護者の皆様の声やそれを受けた内容が「広報しばた」には掲載されませんでした。ご意見や感想を寄せていただいた皆様には、大変失礼をいたしましたことお詫び申し上げます。申し訳ございません。今回のおたよりでは、広報誌でお伝えできなかった1学期の取組の様子、保護者の皆様からいただいたご意見や感想を2学期にどのように生かしていくかをお伝えいたします。

1学期、下学年は、足し算や引き算の問題に取り組む、育てている植物を学習端末で撮影し、観察カードを作成・保存するなど、「楽しく学ぶ」「確かに学ぶ」ことを実現するためのスキルが身に付くように取り組んできました。担任がクラスの実態に応じ、どの場面でどのように活用するかを考えて授業をしてきたことで、子供たちの基本的な活用スキルが高まっています。上学年は、学習端末に思いや考えを打ち込みそれを共有しながら結論に導く学習、分担して作ったプレゼンテーション資料を学習端末で共有して発表する学習などを展開しました。担任や教科担当が教科の特性に応じて適宜活用することで、子供たちの探究心と汎用力が高まっています。

その一方で、保護者の皆様や教員の声に耳を傾けますと、「分からない」と言いづらい、スタートラインが違いすぎて友達に聞けないなど不安な思いを抱えている子供たちも多いようです。また、夏休みの急な持ち帰りに対しましては、保護者の皆様から、「使用上の留意事項、ルータの接続、使用時間、個人スキルの差など不安なことが多々ある。」「使用マニュアル、通知等が多く親が読み込むのに時間を要する。」「懇談会等で保護者への丁寧な説明がほしかった。」などのご意見も多くなりました。

本校では、皆様からいただいた課題を真摯に受け止め、2学期の学習端末（Chromebook）を活用した学習や教育活動を次の3つの視点から改善に努めてまいります。

- ① 学習端末（Chromebook）を活用した学習について共通理解を図る
- ② 学習端末（Chromebook）のルールや持ち帰りについて再検討する
- ③ 子供たちの技能や経験の差に対応する

具体的な取組としましては、授業を見ていただく、ルールや持ち帰りについて再検討後に説明の場を設ける、放課後に学習端末（Chromebook）学習教室を開催するなどを試みたいと考えております。緊急事態宣言下の現状では難しいこともあります。保護者の皆様の意見や考えをお聞きしながら「みんなで学び、みんなで進む学習端末の活用」を進めていきます。今後もどうぞ忌憚のないご意見をお寄せいただくとともに、ご理解とご協力をお願いいたします。

